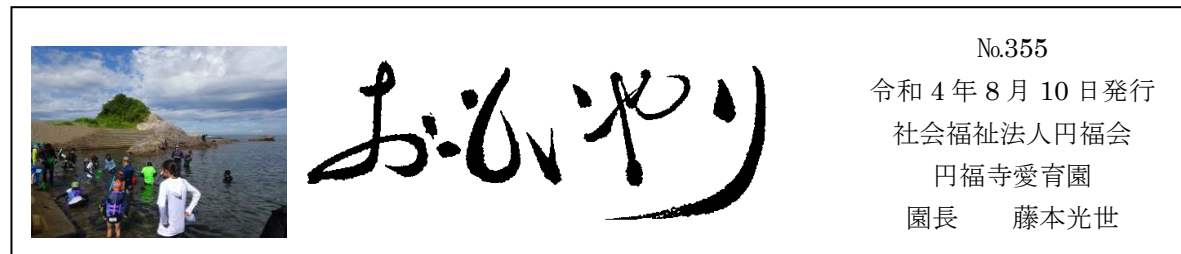


7月上旬とは思えないくらいの暑さになってきました。今月は『海』行事です！



臨海行事

園長 藤本光世

長く思い描いていた臨海行事ができました。

何度も下見に行ってくれていい場所を探し、安全確認をし、シュノーケル、水中メガネ、マリンスーツ、ラッシュガード、ライフジャケットなど子どもの分を、大きさを調べて、落ちがなように準備をしてくれた職員の皆さんに感謝したいと思います。

当日の子どもたちの喜びは、職員の文や子どもたちの感想文から推察してください。私は、子どもたちが生き生きと泳ぎ、生き生きと潜り、生き生きと魚を取って見せる姿をうれしく見ていました。それだけ子どもたちにとっては楽しかったと思います。

子どもたちが心を開放して思いっきり遊べる時間を作ってあげたい。これが臨海行事の狙いでした。約2か月の準備期間中、子どもたちが本当に楽しみにしている姿がありました。来年はさらにバージョンアップして、子どもたちの「来年もまた来たい」という声にこたえてあげようかなあ。(写真は子どもたちが思いっきりお魚を取ったり、水にもぐったりして遊んだ浜を背景にした全体写真です。)



(令和4年8月10日発行 月刊「円福」503号付録)

一学期終了

大きな事故もなく、問題行動は全くなく、一学期が終了しました。先生方、ありがとうございます。そして子どもたち、ありがとう。

一学期を振り返って、あたらしく五月に善光寺ウォーキング、七月に臨海行事を入れることができたのは大きかったです。昔は7月に施設連盟主催の球技大会があって、4月からそれに向けて準備の毎日でした。子どもたちを球技大会に向かわせて暇にしない、そんなねらいの行事でした。連盟を脱退して、球技大会がなくなり、一学期は子どもたちを何に向かわせようかと探っている年が続いていました。3時間リレーマラソンをしたこともありでしたね。

今年の二つの行事は、子どもたちがとっても楽しみにしました。その裏には、職員が土日や休日に子どもたちを外に連れ出して思いっきり遊ばせていることがありました。公園で遊び、山や川に行って生き物をとって飼ったり、子どもでなければできないことを、喜んでいる子どもたちがありました。このことは、子どもたちの心を開放し、満たし、いろいろな面で好影響を及ぼしたと思っています。その結実が二つの行事でした。そして、一学期間子どもたちが学校生活に一生懸命に取り組姿に表れました。

その裏には、先生方が子どものことを思って、子どもとともにたくさん遊び、たくさん遊ばせてやろうとする姿がありました。進んで子どもとともにあり、子どもの成長を見守り、子どもとともに成長する職員に心から感謝しています。

先生方、ありがとう。

臨海学習に行ってきました

あおぞらホーム長 富沢正樹

7月17日、ついに臨海学習に行ってくる事ができました。この臨海学習では子供たちの素晴らしい姿がたくさん見られました。

臨海学習の行事が発表されてから、みんな毎日ワクワク過ごしていて、元気なエネルギーが園の中に溢れていました。職員下見で持ち帰った小魚を見て想像を膨らませて、ずーっと水槽を眺めている子ども達の姿を見て本当に楽しみしているんだなあと感じました。

だからこそ、「絶対に事故やケガが無いように」そう思って下見を重ね、子ども達にも海は危ないから気をつけて自分勝手な行動は絶対ダメだよと何度も伝えていたのですが、前日の子供たちの様子を見ていて、「絶対大丈夫だ」と確信しました。

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

前日の夜、海で使うマリンシューズやシュノーケルを振り分ける作業を私がしていると、中高生の男の子達が一人二人と集まってきて、最後には全員集まって、いつの間にか全員分の振り分けをやってくれました。園の子ども達は「手伝って」というと、なんでもすぐに快く手伝ってくれます。でも、今回はさらにその上で、勝手にぞろぞろ集まってきて、私がやっていた作業を全部もっていってしまいました。…しかも、普段大雑把な男の子たちが、ものすごく丁寧に道具を振り分けてくれました。私は、「あ一本当に楽しみな事があると自然と体が動くんだなあ」と改めて感じました。

まだあります。道具の準備が終わると、その中高生たちは翌日海に行く時に着るスパッツ・ラッシュガード・水着をもう着こんで、「それじゃ、先生、おやすみなさい」と言って寝てしまいました。時計を見たら夜 7 時 55 分でした。小学生よりも早く寝てしまう中高生たちの姿を見て、「すごい臨海学習の行事を大切にしてくれているなあ」と感じました。普段元気過ぎる中高生の男の子たちがこれだけの動きをしてくれているなら明日は絶対事故は起きないと感じ、そこからは注意喚起をする声掛けはなくして、みんなで楽しもうという声掛けをする事にしました。

当日、男の子たちは初めての海や肉眼で見える生き物たちに大喜びしていました。今回の臨海学習行事の大テーマが「夢中になって海の生き物を捕まえよう」だったのですが、前半は小さい魚一匹捕まえる度に声をあげて喜んだり、おっかなびっくり海に潜って大はしゃぎしていたのが、後半はもう無言で潜って、捕まえて、バケツに入れてをひたすら繰り返し、ちょっとやそっとの事ではリアクションもとらず、新種の魚やより大きな魚を追い求めている姿がありました。まさに「夢中」でした。

前月号でも書かせていただきましたが、夢中になると今まで知らなかった感情や心や自分に出会う事ができます。そして、知らなかった自分の一面を知った時、その後自分ってどんな行動をとる人なのか？という事も子ども達は学びます。時には注意されるような行動をとってしまう事もあるかもしれませんし、時には目を見張るような素晴らしい行動をとるかもしれません。とにかく色々な事を体験して、失敗も成功も沢山経験させてあげる事で自分を知っていく事が何よりも大切な事だと思っています。

今回の臨海学習では、夢中になる中に、一生懸命頭を使って魚を捕獲しようとする姿や潜り方を工夫する姿などが多く見られました。逆に危険な行動をする子は皆無でした。素晴らしい事だと思います。



(令和 4 年 8 月 10 日発行 月刊「円福」503 号付録)

初めての臨海学習は大成功だったと思います。みんな口々に「来年もまた行きたい」と言っています。私も行きたいです。子ども達の心に忘れられない経験として刻まれたのではないかと思います。

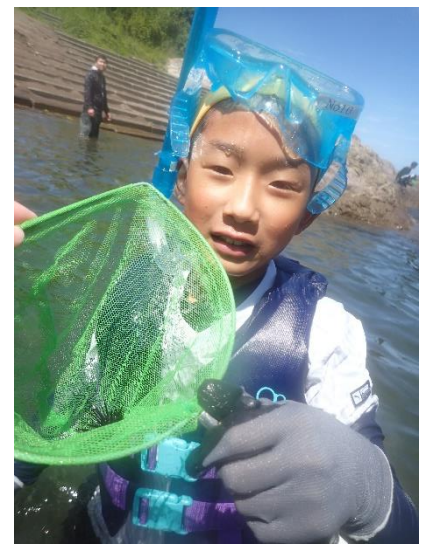
そして、やはり私達職員が目指す園の行事とは、子ども達が心底楽しみにして体が自然に良い行いに向っていくようなものを計画してあげる事が大切なんだと再確認しました。今月は毎年恒例のキャンプ行事があります。臨海学習に負けないような経験を子ども達させてあげたいです。

臨海学習

6 月半ばに冨澤先生と 7 月はホーム食でもやろうか、と相談をしていたところ園長先生から磯採集の行事をやってみないかというお話をいただき、そこから臨海学習の準備がスタートしました。園行事で海に行くのは初めてだったため、目的地を探すところから始めました。そこで見つけたのが今回みんなで行った鯨波海水浴場です。下見へ行ったときに肉眼でもわかるくらい魚の大群が泳いでいるのを見て、ここなら絶対子どもたちも喜んでくれる！！と思いました。臨海学習に行く前から子どもたちが楽しみになるように魚に関する図鑑を増やしたり、海の生き物シリーズのクイズも考えて子どもたちに出題したりもしました。またまごころホームでは生き物に触る練習として松代へサワガニを捕りに行きました。全く平気な子もいればやっぱり苦手な子もいましたが、海で生き物を捕まえられるように恐る恐るな手つきでサワガニを捕まえようと頑張っていました。また泳ぎが苦手な子も多いためプールへ行き泳ぐ練習もしました。こうして準備や練習を重ねていきました。

臨海学習の 10 日間前から新潟の天気子どもたちも調べていましたが、日が迫るごとにどんどん天気予報が悪くなり、2 日前には降水確率 80%・・・これは絶対に雨が降ってしまう、そうなれば行事はできるのか……。楽しみにしていた分不安な気持ちになりましたが、園長先生から 17 日は行きます！と発表を受け子どもたちも少し安心していました。そして待ちに待った当日。雨予報が全く嘘かのように朝から晴れていました。新潟の天気はどうか？と心配でしたが新潟も晴れていて、まさに海日和でした。駐車場から海水浴場まで少し距離がありますが、みんなで荷物を運ぶところから行事がスタートしました。目の前に大きな海が現れて子どもたちも「わぁ～！！」と歓声を上げていました。海に入る前に今まで何度も確認してきた注意事項をもう一度

主任保育士 石崎早織



みんなで確認し合い、深くなる場所も確認しました。すべての準備が整ったところで海に入りました。この日のためにシュノーケルを一人ずつ買っていただいたので、さっそくシュノーケルをつけて海に入りました。最初は泳ぐ練習やシュノーケルをつけて息をする練習をしました。海で泳ぐのが初めての子が多かったので、体に力が入りなかなか浮くことができませんでした。が少しずつ海にも慣れてきたので、小網を使って魚捕りをしました。下見に行った時以上に魚がたくさんいて、海の中に顔をつけてみんな真剣に捕っていました。意外にも女の子たちも魚捕りに夢中になってひたすら潜っては捕まえて、を何度も何度も繰り返しており、気づけばもうお昼の時間になっていました。



どんな生き物がいたか、何を捕まえたのかみんな自分が見たこと、やったことをしゃべりたくて仕方ない様子でした。図鑑に載っていた生き物が実際にいてそれを捕まえて、みんなで見て……。とてもいい経験だな、と改めて思いました。午後もう少し海に入りあっという間に帰る時間になりました。みんなで片づけをして荷物を運んで鯨波をあとにしました。そして園に到着したら水槽作りをしました。大きな水槽を2つも買ってもらい、今回捕まえてきた生き物をホームごとで飼います。海水魚を飼育するのは少し難しいみたいですが、少しでも長く育てられるように飼育していきたいと思います。

今回初めて海行事が行われました。海は楽しい分危険も伴います。子どもたちの心が落ち着いていないと事故やケガにも繋がりがねません。こうして今回海行事ができたということは子どもたちみんなそれぞれが一生懸命自分の生活を頑張っていたからできたことだと思います。また事故やケガもなく一日楽しく過ごせたことも毎日の積み重ねの結果だと思います。楽しい行事だったこと、そのためにたくさんの先生方が準備をしてくれたことに感謝し、次はキャンプ行事に向け準備していきたいと思います！！

臨海学習

あおぞらホーム 畔上裕吾

7月17日に臨海学習へ新潟県は柏崎市の鯨波海水浴場に行ってきました。前日までの天気予報では雨予報となっており、子どもたちも祈る思いで晴れることに期待していました。当日鯨波に着くと雨は降っていないと晴れ間さえ見えている天気で、子どもたち全員の思いが届き晴れたのではないかなと思います。子どもたちは園で揃えた、シュノーケル、マリンシューズなどのシュノーケリング用具一式を身に着け海へと入り、網を使って海の生き物採集をしました。この臨海学

(令和4年8月10日発行 月刊「円福」503号付録)

習の前にあおぞらホームの職員で下見に行ったのですが、網を使って魚を捕まえようとしても、素早く捕まえるのにとっても苦労しました。ですが、臨海学習当日子どもたちは魚やアメフラシ、ウミウシなど多種多様な生き物を短時間で捕まえており子どもたちの力に改めて感心させられました。また、今回の臨海学習の目的は海の生き物を持ち帰り、水槽を立ち上げて海の生き物を飼うというのが目的でした。帰ってきてからは水槽の立ち上げに全員が協力し、無事水槽を立ち上げることが出来ました。

臨海学習は愛育園では初の試みということで、危険な海でケガや体調不良の子がでるかとても心配ではありましたが、何事もなく無事に終えることが出来ました。また、準備から後片付けを子どもたちが率先してくれ、大成功を収めることができた行事になったのではないかなと思います。また来年の臨海学習がとても楽しみです。



愛育園臨海学習

あおぞらホーム 藤原京平

愛育園では、7月17日に新潟県柏崎市の鯨波海水浴場で臨海学習を行いました。

これまで子どもたちは、海の生き物を図鑑で調べたり、プールや川で泳ぎの練習をしたりと、この行事をとっても楽しみにしていました。

当日は5時起床と、かなり早い時間から行動を開始しなくてはいけないスケジュールでしたが、いつも眠そうな顔で起きてくる子どもたちも、ワクワクした表情で朝の掃除やお参りをしている

様子がありました。

海には、たくさんの生き物がおり、魚やカニなどを沢山捕まえては、「こんなにいっぱい捕れた！」「すごく大きな魚がいた！」と嬉しそうに教えてくれました。

また鯨波海水浴場には、大人でも足のつかないような深さの場所もあり、怖がっていた子もたくさんいましたが、行事の後半にはたくさんの子がスイスイと海を泳いだり潜った



りしながら魚を捕まえており、行事の中でちょっとした成長も感じられました。

楽しかったのは海だけではありませんでした。行き帰りのバスの中では、バスレクの係の先生が考えて下さったクイズをあおぞらホーム VS まごころホームでどちらが多く答えられるか競い合い大きな盛り上がりを見せたり、帰園後に捕まえてきた生き物を飼うための水槽の立ち上げをみんなで行ったりと、一日を通して楽しい行事となりました。

今回の行事は、ケガや事故、天気など沢山の心配がありましたが、終わってみれば快晴の中、大きな事故もケガもなく行事を終えることができ、とても素晴らしい行事になったと思います。

愛育園臨海学習



まごころホーム 遠藤あゆな
7月3連休中日、好天の中、新潟の鯨波へ臨海学習に行ってきました。

磯採集では、シュノーケルをつけ海の中を覗きながら魚を狙います。皆の瞳はキラキラと輝いて見えました。それは、子どもたちだけではなく職員もです。皆が一体となって無我夢中になる素晴らしさと重要さを実感した瞬間でした。

たくさん採れた魚は採っておしまいではなく、園の立派な水槽で飼っています。図鑑で魚のことを調べたり、どうやって世話をしようか考える子どもたちの姿を見て、これから先も、飼っている魚を通して臨海学習は続いていくのだと感じています。

愛育園臨海学習

あおぞらホーム 石龍成己

7月17日、新潟県の鯨波海水浴場で愛育園初の臨海学習を行いました。1ヶ月以上準備をして当日を迎えました。当初の予報では雨が心配されていましたが、毎日毎日子供たちに晴れを信じ日々の生活を頑張れば、晴れるよと言いつけ、本当に当日はこれでもかというぐらいの天気になりました。私は小6の子達の班を受け持ちました。初めて使うシュノーケル、そして海。緊張した趣で始まりました。こちら手探りで、ここまでなら安全という範囲を決め、子どもたちを海に入れました。最初はぎこちなさそうに網を振っていましたが、開始30分もすると慣れてきて、当初の予定では早めに休みを入れる予定でしたが、だいぶ延長して採集をしました。少しでも多くの魚を捕まえたいのか、段々班から遠くに行ってしまう子もたくさん出てきましたが、職員で

連携を取り、危険のないようにみていきました。1回目の休憩が終わると、泳ぎに興味を持つ子たちが現れました。普段はあまりガツガツ泳ぐ子ではない小6H君も、シュノーケルとライフガードを使い必死に何度も岩場から岩場までクロールをしました。他の子達も真似て次々と泳いでいました。きっと今まで足のつかない場所で泳いだことや意外にも身体が浮く海水の経験が本当になかったのか、とても楽しそうに繰り返し泳いでいました。顔を水につけるのも嫌がっていた小1H君も楽しそうに浮いて泳ぐのにはまっていた。

終わってみると何百匹いるのかわからないくらい、皆で捕まえていました。車で園に持ち帰り、アクアリウムとして談話室で飼育しています。とても大きい水槽を園長先生のご厚意で購入して頂きました。毎日起る水槽の変化に、子どもたちは目を輝かせています。危険と隣合わせの行事という事で、私が愛育園に来た1年目の頃とかでは考えられない事であったので、よく子どもたちが成長してくれた事に嬉しさも感じつつ、とても良い行事だったと実感しています。

海行事 児童感想 あおぞらホーム

7月17日に、愛育園で初めての海行事に行きました。新潟県の柏崎市の「鯨波海水浴場」に行きました。そこで、初めてシュノーケルを使いました。海水がおもったよりもしょっぱかったのを今でも覚えています。海の中では、海の生き物を夢中になって捕まえることができました。魚を70匹以上捕まえることができました。初めての海行事だったけど、みんな怪我なく帰って来て、よかったです。



(中2・Y君)



<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

7月17日、海に行きました。発表されたその日からずっと楽しみにしていたので、一度体調を崩して寝こんだ時には、ひやっとしました。ですが、無事に海に行けたので良かったです。海に着いたら、荷物の移動を率先してできたので良かったです。最初は、浅瀬の方で、シュノーケルの練習を十分にしてから、深い方に行きました。本当に思っていたよりも深かったし、波も強かったので、気を張っていました。10cm以上の魚を獲ることが目標でしたが、たくさんいるけど素早く獲れたもんじゃありませんでした。あまりと獲れなかったもので、浅瀬の方で練習してから大きい魚を捕まえることにしました。その結果、ハゼを10匹以上、フグを2匹、その他にもたくさんの種類の魚が獲れました。特に嬉しかったのは、アメフラシです。ダメもとで、海藻を探していたらプニプニしたアメフラシがいたので、跳びまわりました。片付けも協力できたので良かったです。今回捕まえられなかった大物を、次回こそは、捕まえられるように頑張りたいです。とても楽しかったです。

(中2・M君)

自分は、7月17日に海に行きました。海に着くと最初に、タープ作り、荷物運びをしました。海に入ると、深いところで3メートルぐらいあって怖かったです。かにやボラをたくさん獲れて良かったです。海には、他にも魚がいて、フグやイシダイもいてそういうのも獲ることができました。ヒトデはいなかったけど、アメフラシを捕まえることができたので良かったです。

怪我やケンカなどもなく楽しくできたので良かったです。来年もまた行きたいです。

(中3・S君)

海行事 児童感想 まごころホーム

うみ

きょうは、くじらなみにいきました。さいしょは、つめたかったけど、あたたかかったです。ぼくはふぐとちいさいぐれーのさかなをつかまえました。ちょっとこわかったけど、すこしうきました。たのしかったです。

(小1・Aくん)

初めての臨海行事

昨日園で初めての臨海行事がありました。場所は新潟県柏崎市にある鯨波海水浴場でした。最初はコツがつかめなくて苦労したけどいっぱい魚や貝がとれたので良かったです。お昼はうどん

(令和4年8月10日発行 月刊「円福」503号付録)

を食べました。あまりお腹がすいていなかったけど、とてもおいしかったです。後半はもぐって魚をとったり、きれいな石や貝をとったりしました。初めてシュノーケルを使って泳いだので口に水がいっぱい入ってしまいとてもしょっぱかったけどその後は先生にしっかりと泳ぎ方を教えてもらったのでだいぶ泳げるようになって良かったです。次に石をとったりしました。いっぱいきれいな石がとれたので良かったです。

その後はみんなで片付けをしました。みんなで協力して片付けができたので良かったです。その後は園に帰りました。園に帰った後はアクアリウム作りをしました。初めにポンプを組み立てました。難しかったけど無事に組み立てることができたので良かったです。また、他の工程もみんなで協力してできたので良かったです。魚を入れました。とてもかわいかったです。大切に責任もって育てたいです。また、日々の生活にメリハリをもって生活したいです。また行きたいです。

(中2・Hさん)

初めての臨海学習

7月17日に海に行きました。初めて海に行きました。海水はすごくしょっぱかったです。最初の方は浅いところで泳いだりしました。魚もたくさんいました。つかまえるのはとても難しかったけど、ちゃんとつかまえられてうれしかったです。奥の方まで行くとけっこう大きい魚もいてすごかったです。全然つかまえられなかったので、次行けたらつかまえられるといいなと思いました。今回初めての海の行事で、とても貴重な体験ができました。楽しかったです。

(中3・Uさん)

あおぞらホームだより

あおぞらホーム 山田 忍

子どもたちが待ちに待った夏休みがやってきました。

夏休み前、愛育園では臨海学習として初めてみんなで海へ出かけました、それはそれは皆楽しみにしていて前日から水着を着たまま寝ていた子もいたと聞いて本当に楽しい思いをさせてあげなきゃな、と思いながら出発しました。職員としては皆と楽しく過ごすのはもちろんですがトラブルや海での事故が無いように対応するというミッションがありました。自分自身も楽しく潜りな



<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

がらも常に周りの様子や人数確認など気を張っていました。しかし、今回の行事は結果的にはそこまでこちらが気を張らなくても子どもたち自身が自分なりに「海は楽しい。でもとても危険。」ということを知っていてそのおかげで一切のトラブルや事故がなく終えることが出来ました。

行事の直前はテンションが上がってしまうことが多いのですが海行事の前日や前々日など皆落ち着いて過ごせていたという印象もありましたし、当日もお昼の準備や荷物運びなども積極的に動いてくれて皆の意識がにじみ出ていて本当に良い行事だったな。とつくづく感じました。そして、そういう雰囲気のまま夏休みに入れたことが行事として大成功だったなと感じています。そして次はこの勢いでさらにいいキャンプになるようにしていこうと思っています。



まごころホームだより

まごころホーム 倉石朱莉

いよいよ夏本番を迎え、毎日うだるような暑さが続いています。運動部の3年生は、3年間続けてきた部活動も引退を迎え、受験勉強に力を入れ始めています。子どもたちが、希望の進路に進めるよう、職員もできる限りのサポートをしてきたいと思います。また、7月17日には初の試みである、臨海行事がありました。まごころホームの小学生は海を見るのも初めての子も多く、バスの中から海が見えるととても興奮した様子が見受けられました。海では、それぞれのバディの先生と各々の方法で海を楽しんでいました。子どもたちだけではなく、職員も見ることがないほどキラキラした笑顔をしており、とても良い行事になったのではないかと思います。

来月はキャンプがあります。キャンプに向けての準備も少しずつ始まり、子どもたちの中でも、楽しみにしている姿も見られるようになりました。今回の臨海行事の反省点も活かし、楽しいキャンプになるといいと思います。

調理室だより

調理員 加藤のぶ子

6月末最速で梅雨明けが発表され記録づくめの暑さとなりました。子供達はプールや川遊びなどいろいろ工夫してもらい元気に楽しんでいます。

6日(水) ★通明小懇談会★

先生方が一緒に夕食を食べて頂きました。

(令和4年8月10日発行 月刊「円福」503号付録)

・チキン南蛮・たらも和え・わかめの生姜醤油和え

7日(木) ★七夕メニュー★

・七夕冷しゃぶそうめん・七夕ゼリー

10日(日) ★第三者委員会の方との昼食会★

食事の前に子供達から歌のプレゼントがありました。

・スパゲッティーミートソース・フレンチサラダ・オレンジゼリー

17日(日) ★臨海学習★

お天気も良く予定通り元気にバスで出発出来ました。

調理でも早番の先生が80ケのおにぎりを準備しました。

23日(土) ★土用丑の日メニュー★

・うな井・わかめのすまし汁・カミカミサラダ

30日(火) ★Y君誕生日メニュー★

・サンドイッチ&メロンパン・鶏の唐揚げ・アセドアンサラダ

8月には楽しいキャンプ行事も計画されています。

厳しい暑さの中、毎日の食事作りに気を配り、この夏を乗り切りたいとおもいます。

